

新型コロナウイルス感染に対するワクチン接種に関する要望書

令和3年 5月13日

宇都宮市長 佐藤栄一殿

宇都宮市議会自由民主党議員会

会長 小林 紀夫

宇都宮市議会公明党議員会

会長 金沢 力

新型コロナウイルス感染は、世界的猛威が収まるどころか、新たな変異種の発生などもあり、更なる感染拡大を引き起こしている。

各国では、ワクチンの開発が進み、数種において認証され接種が行われているが、国によって国民の接種率には格差があり、世界的な普及・接種には程遠い状況である。

これまで本市では、市民の理解・協力と医療従事者や本市関係部署の職員等の献身的な尽力により、感染者を最小限に食い止めているが、全国的には感染者が増加している地域もあり、緊急事態宣言が発令されるなど、感染拡大の第4波を迎えており感染者が減少する見通しは立っていない。

そのような中、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ対策として、最重要視されているのがワクチン接種である。国においては、先ごろ、接種を必要とする約 3,600 万人の高齢者への接種を7月までに完了させる目標を設定したが、接種するために必要な環境や人材が不足している状況にあることは明白であり、本市においてもワクチン接種の予約が取れないなどの問題が発生している。

本市は、これまでも市民の生命や安全安心と生活を守るとの決意のもと、様々な施策や取組を行っているものの、このような局面にあって、国・県との十分な連携と、現場の状況の迅速な把握により、後手に回らない対応や、さらなる対策が必要と考え、下記の項目について緊急に要望する。

記

- 1 新型コロナウイルスワクチン接種に係る体制の強化と整備のために予算処置を行うこと。
- 2 国・県との十分な連携と現場の状況を迅速に把握し、市民の混乱を招かないように対応すること。
- 3 医師会との十分な連携と、新型コロナウイルスワクチン接種に係る、ワクチンの入荷時期や予約方法・状況など、市民に対して現状の周知と理解促進につとめること。
- 4 新型コロナウイルス感染の終息に向けて、医療機関や関係する事業所などと連携強化を図るなど、前例にとらわれない対応をとることをはじめとして、臨機応変に的確な対策を実行すること。
- 5 前例のない非常事態であるため、市長自らが前面に立ち、リーダーシップを発揮し、全庁一丸となり対応すること。

以上